

鉄道利用者専用貸切バスの運行実証実験結果概要 (平成15年6月～15年10月)

背景

- ・富良野・美瑛方面及び道東方面の観光地は、観光シーズンとなる6月から10月にかけて相当数の観光客が訪れているが、これらの観光スポットが鉄道駅から遠く離れた場所にあることから、鉄道最寄り駅から観光スポットに至るまでの間にレンタカー等への乗り換えが必要となる。
- ・このため、利用客の多い札幌からは直接マイカーやレンタカーで移動した方が機動性が高く便利であること等の理由により、鉄道の利用が敬遠されている状況にある。
- ・そこで、最寄りの鉄道駅から出発して観光スポットを巡る鉄道利用者専用の貸切バス(愛称「ツインクルバス」)の既存運行コースの見直し・再編を行い、観光利用客にとっての魅力を一層高めるとともに、広く周知宣伝を行なうことにより鉄道による観光地来訪の促進とマイカー・レンタカーから鉄道への利用転換を図ることとしたものである。

実験の概要

- ・観光地の最寄り駅から観光スポットを巡る鉄道利用者専用貸切バスを運行し、鉄道利用客の増加を検証する。
- ・実施主体：北海道旅客鉄道(株)
- ・実施地域、実験期間：
富良野・美瑛地区 15年6月～15年10月
(ツインクルバス富良野号・ツインクルバス美瑛号)
道東地区 15年7月～15年9月(ツインクル道東バス)



ツインクルバス富良野号



ツインクルバス美瑛号



実験の効果

- ・両地区合計での鉄道利用客は、前年に比べて0.48%増加。
- ・実証方法： 実験期間中の土休日の下記鉄道利用客を比較。
富良野・美瑛地区 札幌～富良野間を運行するリゾート列車の乗車人員
道東地区 帯広～釧路間の定期特急列車の断面輸送量(乗車人員)



実験後の状況

- ・実験の成果を受け、さらにコースの見直しを行い、JR北海道の商品として実用化されている。
- ・新たに函館周辺コース、知床周辺コースが運行される等、事業展開が進められている。